

宮城県における復興祈念公園基本計画

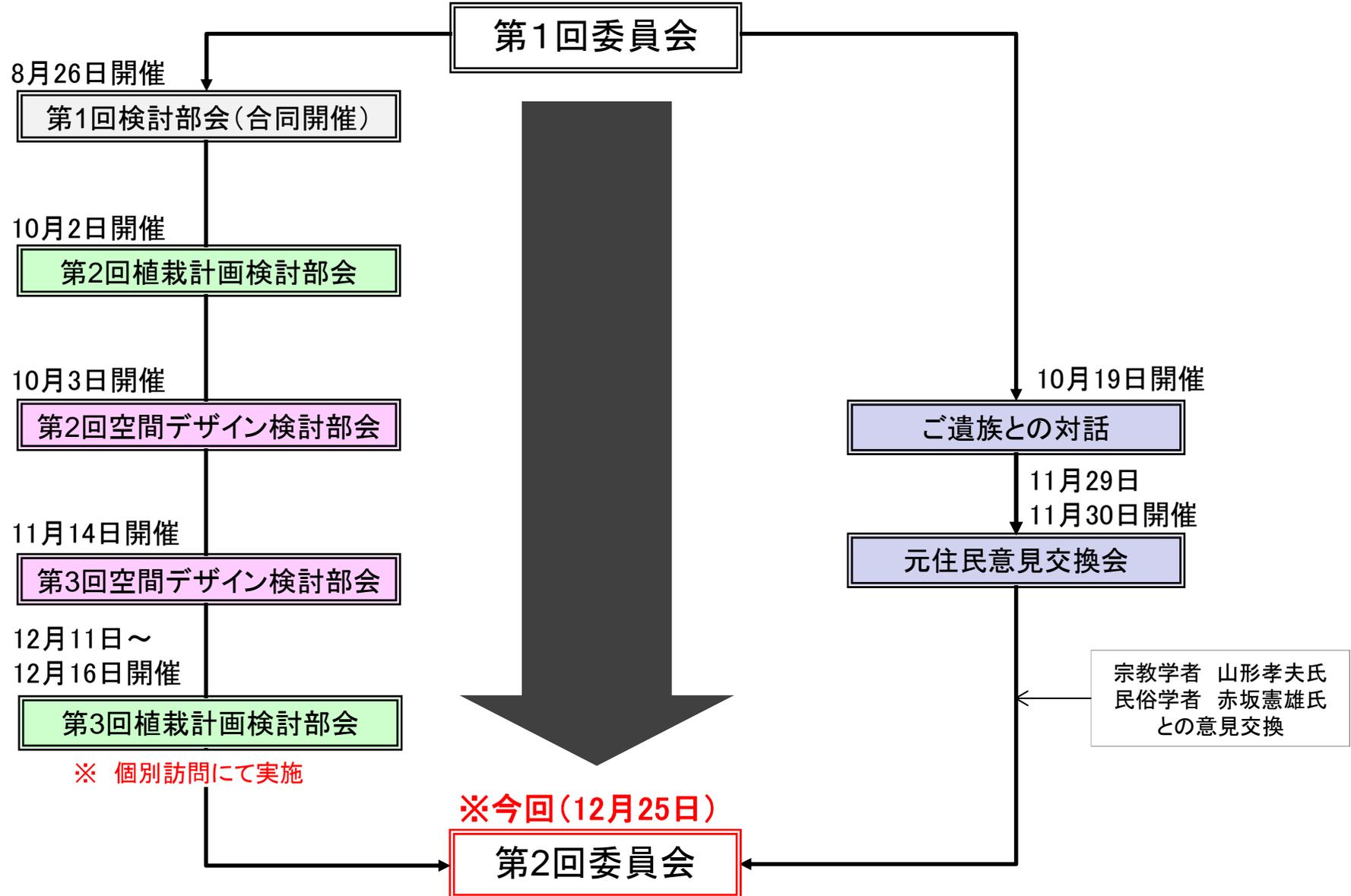
検討調査有識者委員会 資料

【これまでの検討経緯及び今後のスケジュール(案)】

平成26年12月25日

空間デザイン検討部会
植栽計画検討部会

有識者委員会
8月1日開催



○第1回 出席者:阿部委員、佐々木委員、森山委員、渡部委員、濱野委員、平田委員 ※植栽計画検討部会と合同開催
1)検討内容の設定 2)植栽環境調査と植栽計画のあり方 3)検討レベルに応じたデザインのあり方 等

○第2回 出席者:阿部委員、佐々木委員、森山委員、渡部委員
1)阿部委員による基本計画検討案に関するプレゼンテーション 2)基本条件及び基本的な考え方の整理

○第3回 出席者:阿部委員、佐々木委員、森山委員、渡部委員
1)土地利用の基本方針 2)計画条件の整理

議論の概要と成果

- 全3回の検討部会では、空間デザインの基本的な考え方や土地利用の基本方針について議論が交わされ、空間デザインの**基本コンセプト**をとりまとめた。
- 土地利用の方向性として、震災前の街の記憶の拠り所となる**街路網パターンを残す**こと、震災後に発生した**湿地環境を伝承装置として取り込む**ことなどが確認された。
- その他、議論の中で次のような意見が示された。
 - ・かつて街であった場所を**公園にしなけりばならなかつた理由**を刻むことができれば、それ自体がコンセプトとなる。
 - ・**湿地や森の中に街路を残し**、以前の街の形が見えるようにすると良い。
 - ・丘は**避難に使える場所**、また**街の記憶を残す街路網を見下ろせる場所**として位置付ける。
 - ・元の形で残らない街区については、**元住民などの思いを受け止める場所**も考えるべき。
 - ・津波で自然の環境に還ったことを踏まえると、**氾濫原が広がっているイメージ**がふさわしい。

○第1回 出席者:阿部委員、佐々木委員、森山委員、渡部委員、濱野委員、平田委員 ※空間デザイン検討部会と合同開催
1) 検討内容の設定 2) 植栽環境調査と植栽計画のあり方 3) 検討レベルに応じたデザインのあり方 等

○第2回 出席者:古藤野委員、中静委員、平田委員、森山委員
1) 基本条件及び基本的な考え方の整理 2) 現地調査の結果と目標とする植栽タイプ
3) 杜づくりのプロセス・多様な主体の参画と協働

○第3回(個別訪問) 対象者:古藤野委員、中静委員、濱野委員、平田委員、森山委員
1) 目標とする植生・植栽タイプ 2) 杜づくりのプロセス・多様な主体の参画と協働

議論の概要と成果

○全3回の検討部会では、計画地の立地と土地利用を踏まえた植生・植栽タイプや、持続的な杜づくりのあり方などについて議論が交わされた。

○頂いた意見を踏まえ、目標とする植生・植栽タイプや杜づくりのプロセス、多様な主体の参画・協働の方針をとりまとめた。

○その他、議論の中で次のような意見が示された。

- ・植栽樹種は、計画地周辺に生育している落葉樹がふさわしい。
- ・自然界で津波の来るところには生育しない常緑広葉樹は植えるべきではない。
- ・日和山の植生とセットで自然観察することを考えると良い。
- ・自然植生の復元だけでなく、人々の暮らしと関わりの深い植栽の導入も検討したほうが良い。
- ・植樹や伐採等を通し、人間が関わり続ける杜をつくれると良い。
- ・杜づくりを支える組織づくりが重要で、調整役となる組織が、初めから終わりまで関与していただける仕組みが望ましい。

○ご遺族との対話

- ・実施日：平成26年10月19日（日）
- ・会場：石巻市門脇町 西光寺
- ・出席者：ご遺族及び元住民の方々 8名（男性1名、女性7名）
- ・趣旨：南浜地区に整備される復興祈念公園のあり方等について、地元のご遺族の方々の想いを拝聴した。

対話での主なご意見

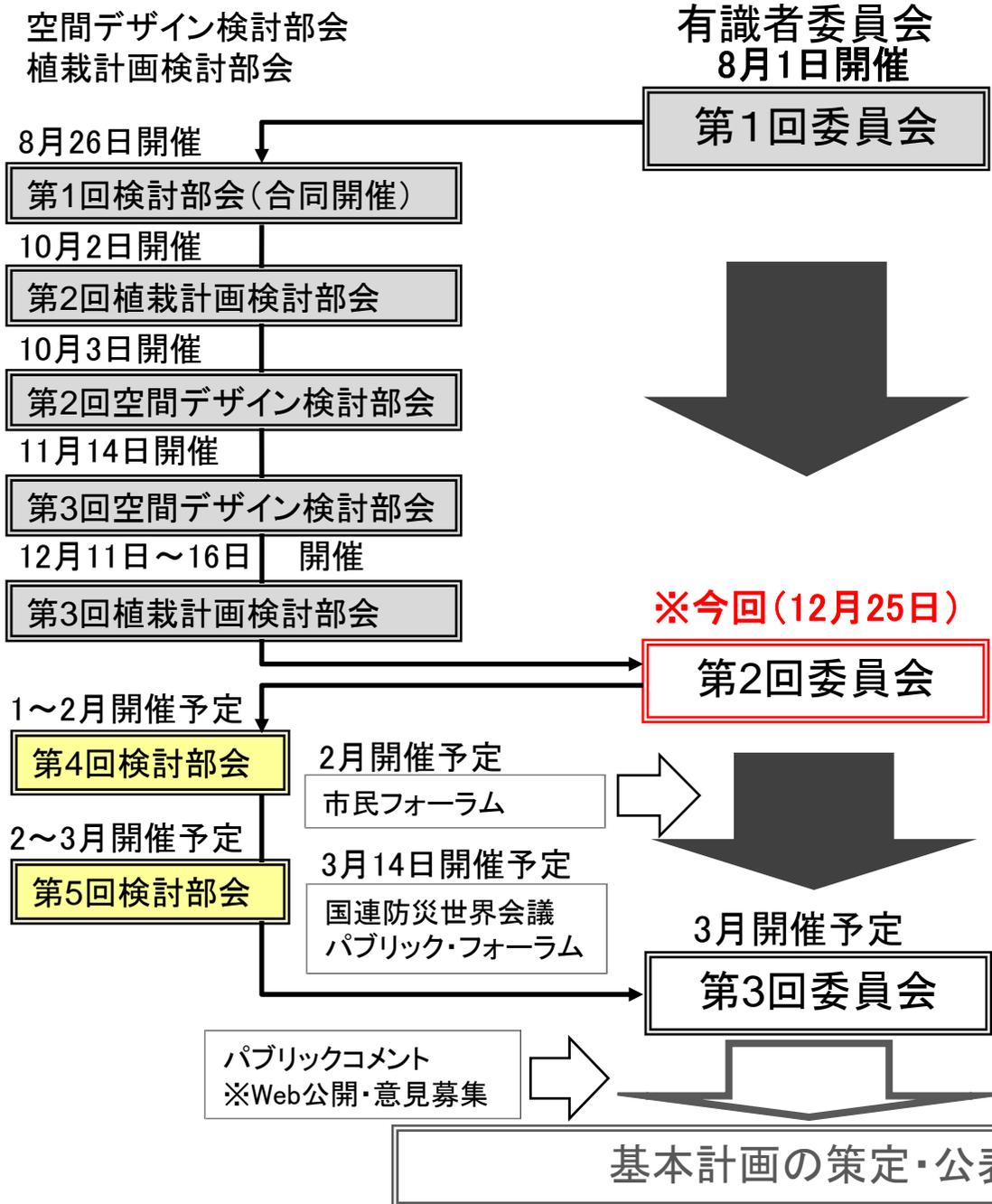
- 遺族の気持ちはそれぞれなので、全体のためのものとは別に遺族のためのものがあるとよい。
- 被災の経験を活かしたり、伝承したりする施設であってほしい。
- 自然災害をなくすことはできないが、減災を伝えるものも必要。
- 観光客にも遺族の気持ちを理解してもらう仕組みが必要。
- 元住民の気持ち、思いも考える必要があり、まちの記憶は残してほしい。
- 遺族などが集うことができ、雨風をしのげる建物があるとよい。
- 慰霊碑等に名前があるとそこで供養する気持ちになる。
- 慰霊碑等に名前を刻む場合は、遺族への予告や確認をするなどの配慮をお願いしたい。
- 海を見たくない人もいるので、意図的に海を見せるのではなく、丘を登ったところで偶然に海も見える程度であってほしい。
- 津波の高さの表示や“3.11”という数字を見ることが苦しい。
- 蓮の池や自然のものがほしい。
- 思い出の品や写真を収める場所がほしい。
- 追悼の鐘、大木のような大きなものがあれば祈りの対象となる。

○元住民意見交換会

- ・実施日：平成26年11月29日(土)～30日(日)
- ・会場：石巻市 大橋ささえあい拠点センター、蛇田中央団地集会所、開成ささえあい拠点センター
- ・出席者：元住民の方々 8名(男性3名、女性5名)
- ・趣旨：震災前の南浜地区がどのような場所であったのかを把握し、基本計画検討の参考とするため、公園の計画地およびその周辺にお住まいだった方々から、当時の人々の暮らし、印象深い出来事や思い出、そして現在の南浜地区への想いなどを拝聴した。

意見交換会での主なご意見

- 昭和35年当時は南浜町二丁目、三丁目为中心であり、その後四丁目が開発されて住宅が建つようになった。
- 昔は南浜町三丁目を南北に縦断する道路がメイン通りだった。
- 昔は聖人堀が大雨で溢れて床下浸水の被害があったり、濡仏線沿いで高潮の被害があったりしていた。
- 雲雀野海岸には、松林がいっぱいあった。
- 聖人堀が暗渠化される前、桜並木があって気持ちがよく、石巻では数の少ないまちなかの緑地の一つだった。
- 津波の前に2回ぐらい避難したことがあり、いつかは津波が来ると思っていた。
- あまり海を意識せず生きてきた。
- 元住民も何かしたい、何かをしなくてはと思っている方もおり、このような方々は自分の思いを伝えたい、自分たちの住んでいた南浜に関わりたいと思っている。
- 南浜公園に関わりたいと思っている人々がみんなで作る公園づくりをしていきたいと考えている。
- 海外の方々も犠牲となられた方々の供養をしており、そのような方に感謝の気持ちを伝える手法としての公園づくりをしていきたい。
- 子供から高齢者まで、みんなが一つのラインに立って公園づくりをしていきたい。



- ### 検討内容
- 基本計画の検討方針
 - 基本計画の検討体制・工程計画
 - 植栽計画、空間デザインに係わる技術的な調査・検討
 - 動植物調査・気象観測データに基づく条件整理
 - 空間デザインコンセプトの検討
 - 目標とする植生・植栽タイプ、杜づくりのプロセス・多様な主体の参画・協働の方針検討
 - 基本コンセプト(案)
 - 基本計画の構成(案)
 - 園内の空間構成・施設配置等の検討
 - 来園者等の安全確保方策検討
 - 園外との関係性・連携の詳細検討
 - 植物材料調達・市民との協働の手法検討
 - 基本計画(案)の検討・整理
 - 基本計画(案)